

2010年04月18日 野坂山地 赤坂・三国山 同行者1名

コース距離: 6.1km 所要時間: 4時間34分(休憩含む) 標高差: 309m

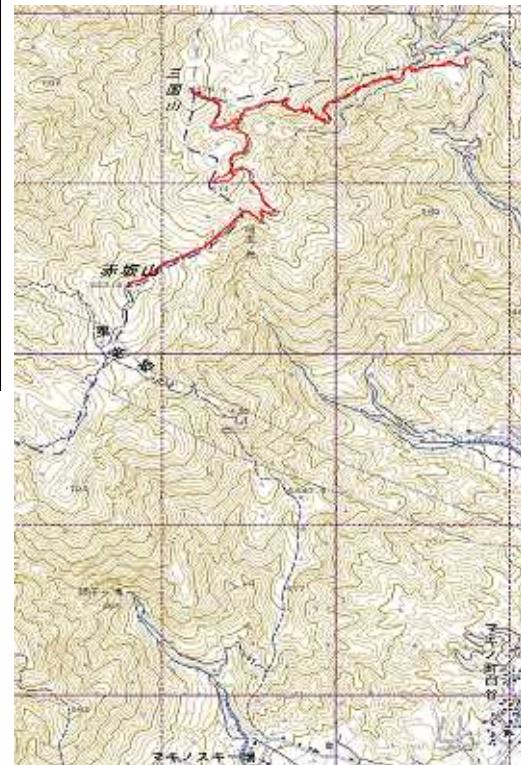
コースタイム

黒河峠08:37 09:28三国山分岐 10:09明王禿 10:39赤坂山10:37

10:57明王禿11:30 11:55三国山分岐手前 12:10三国山

12:28三国山分岐 13:05黒河峠

場所の名称	時刻	緯度	経度	標高 m
黒河峠	8:37	35.3151	136.0220	567
三国山分岐	9:28	35.3141	136.0143	
明王ノ禿	10:09	35.3125	136.0145	
赤坂山	10:31	35.3112	136.0124	824
	10:37			
明王ノ禿	10:57	35.3125	136.0144	
	11:30			
三国山分岐手前	11:55	35.3140	136.0142	
三国山	12:10	35.3147	136.0135	876
三国山分岐	12:28	35.3141	136.0143	
黒河峠	13:05	35.3152	136.0220	567



右 山行軌跡

行程グラフ



* 登山状況

1週間ほど前に昔のパートナー川西市のT氏に近況の山行き報告のメールを出した、返事は体調が戻らず昔の城を見て回る歩きで体調を整えるとの事で、

今日は長岡京市のYさんと二人で三国・赤坂山へ花を見に行くことにした。

朝 5時20分に自宅を出てGSでガソリンを補給して長岡京市に向いY氏を乗せて6時に一般道で滋賀県に、滋賀県に入り161号線でマキノ町奥の黒河峠へ。道路は順調に車が走れて8時前に黒河峠に到着と思われたが、峠の手前で先着の車が停め様としている峠は満車なのだろうかと思いきや峠手前50mで20m程の長さで雪が積もっていた。

(写真) 黒河峠より積雪部を見下ろす

大丈夫だろと車を走らせると4m程で停まり、一度バックしてもう一度前進するが6mの所で前にも後ろにも動けなくなつた。

車輪の後ろの雪を退けても車は動かない車輪が雪の中に落ち込み車底が雪の上に載ってしまい駆動が出来なくなってしまったのである。



幸い後からトラックが来た山の整備に来た人と思われる、トラックの2名に私の車を前から押してもらいバックで脱出が出来た。

そのトラックも積雪部を乗り越えを試したが無理のようであった。

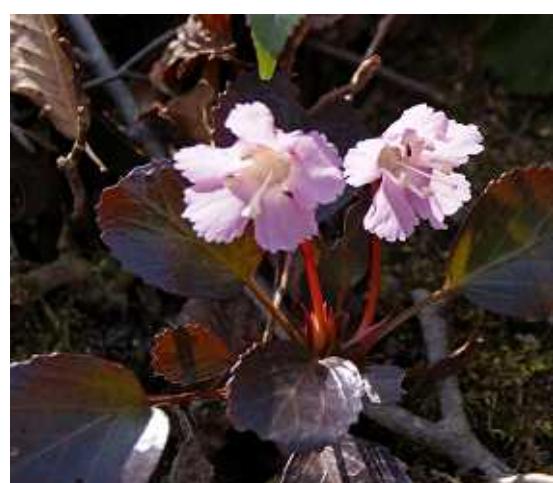
登山準備をして黒河峠を出立したのは08時37分であった。

登山道を歩むが一向に花が咲いていない、三国山分岐に来るまでに数個しか花が咲いているのを見つけられなかった。

(写真) 2枚とも バイカオウレン



(写真) トクカワソウ



分岐からは積雪があり三国山へ行こうとしたが50mも入ると道が閉ざされている、雪で木が倒れて道を隠しているし雪解け川が出来ている、仕方なく三国山を諦め赤坂山を目指す。

ここでも雪で木が倒れて道を隠している、歩きやすい場所を探し左側を進むが何時もはこれほど開けたところはなかったと思ったところで先が見渡せた所で無理と確認した。

何時もは左に回り右に回りこむと明王禿が見える所に出くわす、来た道を引き引き返し右に回ると登山道に出くわした積雪がなくなると10時9分明王禿に。

(写真) 明王禿と後方の赤坂山



明王禿を過ぎると赤坂山から来た登山者と会うようになった、皆さん問い合わせる言葉が決まって花は咲いていましたか？、向こう側も花は咲いていないことが判った、積雪もありまだ寒くて花が咲いていないと。

10時39分赤坂山に到着したが風が冷たく寒さを覚える、明王禿は風を避けられる場所があったので早々引き上げることにする。

10時57分明王禿に戻りつき食事休憩してから帰途に着く。

三国山分岐の前に登山道が階段状になって登っている、GPSの地図で確認すると三国山へ向かっている、そのまま前に進む12時10分三国山に到着。

山頂でたくさん的人が食事をしている、この人達がトレールを作ったので三国山に行ってしまったようだ。

三国山を下り分岐近くで確認できたが分岐口からは誰もまだ入って来ていない積雪がある為、別の道が作れたと思われる、13時5分黒河峠に帰りつく。

峠手前の積雪部でトライアルバイクで越そうとしているがタイヤがうすまり動かす事が出来ないと断念したと答えてくれた、今日は歩きでしか峠越えは出来ないらしかった。

帰途、白谷温泉に入って冷え切った身体を温めから、海津大崎へさくらを見て帰途に着いた。